

# 校務改善 NEWS #1

平成23年11月7日  
 [発行] 校務改善  
 検討会議  
 [事務局] 東京都  
 教育庁人事課職員課  
 〒163-8001  
 新宿区西新宿2-8-1  
 都庁第二庁舎27F南

現在、喫緊の課題である「校務改善」の取組を、教育委員会の方、先生方に広く知っていただきたいと考え、校務改善検討会議の取組として、『校務改善NEWS#1』を発行することとしました。具体的な校務改善モデル事例や、検討会議の様子等をお知らせしていきますので、積極的なご意見・ご提案をお寄せください。

## 「校務改善」検討委員会の設置について

平成二十三年二月に、都教委は、「小中学校の校務改善の方向性について」を策定しました。これを踏

まえ、今後、小中学校の校務改善を推進していくための方策を検討するため設置されたのが、学校・区市町村・都の代表で構成する「校務改善検討会議」です。

この会議は、左図のように二部構成で組織されています。

いわゆる「親会」は、区市町村教育長会の代表、小・中学校の校長会の代表、そして、東京都教育庁次長及び部長級の代表から構成し、今後の校務改善策をとりまとめます。

「幹事会」は、区市町村指導室課長会代表、小・中学校副校長会代表、小・中学校事務職員会代表、そして、教育

### 【校務改善検討会議】

#### 【検討事項】

- \* 校務改善に関すること
- \* 校務改善策の効果検証に関すること
- \* その他検討を要すること

- 区市町村 教育長会代表
- 小学校長会代表
- 中学校長会代表
- 教育庁次長
- 教育庁部長級代表

報告

### 【幹事会】

下命

- 区市町村 指導室課長会代表
- 小・中学校 副校長会代表
- 小・中学校 事務職員会代表
- 教育庁部長級代表
- 教育庁課長級代表

庁部長級及び課長級の代表から構成し、親会から下命を受け、具体的検討事項について議論を繰り広げています。

## なぜ今、校務改善が必要なのか？

小・中学校は、学習指導面はもとより、学力や体力の向上、いじめや不登校への対応、地域との連携等、多種多様な課題を抱えています。

しかし、都教委が平成十九年に実施した調査においては、副校長の約九十%、主幹教諭の七十五%が多忙感を抱いている実態が明らかになり、ICT化の取組を進めてきましたが、まだ道半ばの状況です。

### 小中学校の校務改善の方向性について PICKUP

そこで、都教委では、学校現場の業務実態と教職員の意識を詳細に把握することが重要と考え、昨年度、小・中学校六十二校を対象に調査を行いました。

そして、調査結果を様々な角度から分析し、副校長が抱える多忙感の原因を導き出すとともに、その課題解決の方向を、「小中学校における校務改善の方向性について」として取りまとめました。

#### 1 調査結果

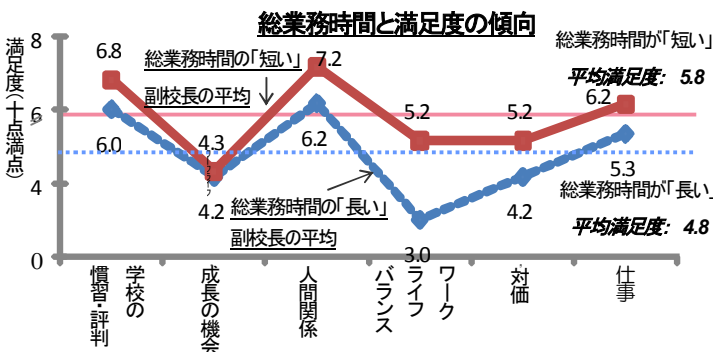
#### ア 副校長の業務実態

○ 学校種別を問わず、総業務量は多く、休日出勤の数も多い

	小学校	中学校
勤務日業務時間	12時間 19分	11時間 25分
勤務時間内	8時間 17分	8時間 8分
勤務時間外	4時間 1分	3時間 17分
休日業務時間	4時間 7分	4時間 16分

○ 勤務日・休日とも、全体の約六十%の時間を校務、調査に費やしている

○ 積み残した業務を勤務時間外や休日に処理している



- 業務時間の長い学校ほど満足度が低い
- 突発的・例外的な業務が発生した際の業務負担が大きい

## イ 学校ごとの負担の差

○小学校と中学校の異なる要因

【小学校】\*日中は教員の大半が担任で出払うため、副校長に業務が集中する。\*新任・若手の割合が多く、育成に労力がかかる。

【中学校】\*教員間でのコミュニケーション、人事管理・人材育成に割ける時間が少ない。

○学校規模による負担の要因

【小規模校】\*教職員一人当たりの担当分掌業務の幅が広い。\*突発的な業務発生の際に分担できず、副校長が引き受けざるを得ない。

【大規模校】\*規模に比例して、事務量が多い。\*教職員、児童・生徒が多いことで休職や事故、保護者対応の発生頻度が高い。

## ウ 職務遂行能力向上の環境整備

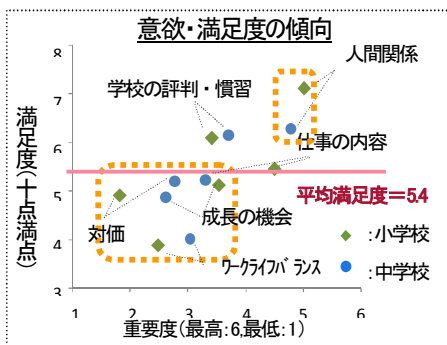
○研修やOJTを活用できておらず、学ぶ機会が不十分

【OJT】\*十分に研修に参加できない。\*既存の研修内容が十分でない

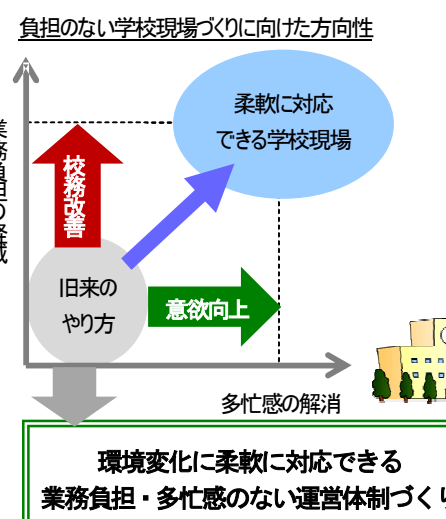
【OJT】\*校内で十分な体制の構築ができていない。

## エ 職務への意欲

○満足度が低い要素は「成長機会・対価・ワークライフバランス」。最も重要度が高い要素は「人間関係」



## 2 解決の方向性



## イ 今後の取組の方向性

(二十三年度にモデルで実施)

### ① 役割分担

標準的組織・分掌モデル規定

### 経営支援部を設置



### ② 業務の進め方

- ・職務別役割分担の整理
- ・大規模校への事務集約
- ・管理職支援職種の設置
- ・行政・学校間連携の統括機能設置
- ・校務の共通プロセス整備
- ・校務システムの共用化
- ・行政・外部との役割分担の見直し
- ・業務効率化の推進

### ③ 職務遂行力向上

- ・人材育成責任の明確化
- ・管理職のマネジメント能力向上

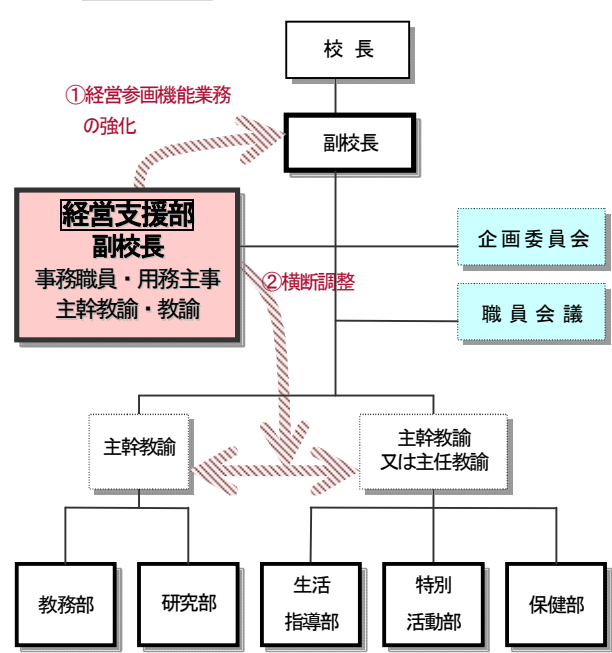
### ④ 意欲の向上

- ・休暇が取れるバックアップ体制の整備
- ・表彰の充実
- ・相談体制の充実

### ウ 今後の推進体制

- ・区市町村教委・学校代表者との合同検討
- ・学校代表者・学校管理職の参画により広く意見を集約

## 【経営支援部設置のモデル組織図(小学校)】



## 校務改善検討会議を設置

「小中学校の校務改善の方向性について」ご意見・ご提案をお寄せください

「校務改善の取組・実践事例」も広く募集しています

こんな工夫をしています!

実践事例、ご意見・ご提案はこちらへ

校務改善検討会議 事務局【東京都教育庁 人事部 職員課】

TEL 03-5320-6791 FAX 03-5388-1729

Mail S9000013@section.metro.tokyo.jp

## 『ゆりーと』のプロフィール

「ゆりーと」は、都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフです。「アスリート」や多くの人々が、東京都を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたいていこう、『スポーツ祭東京2013』を応援します。



「小中学校の校務改善の方向性について」の詳細は、東京都教育委員会のHPでご覧いただけます。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr110210.html>